

経営比較分析表（平成29年度決算）

岩手県 西和賀町

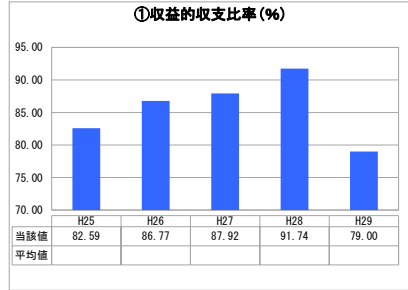
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	8.97	100.00	4,410

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,839	590.74	9.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
518	588.82	0.88

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



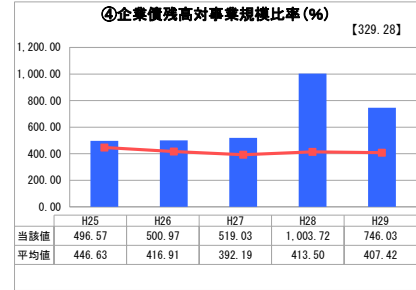
「単年度の収支」



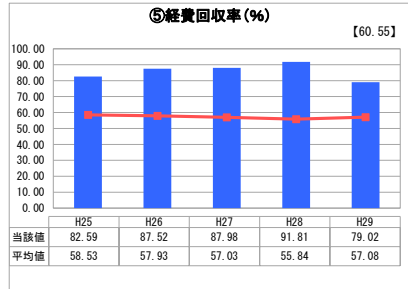
「累積欠損」



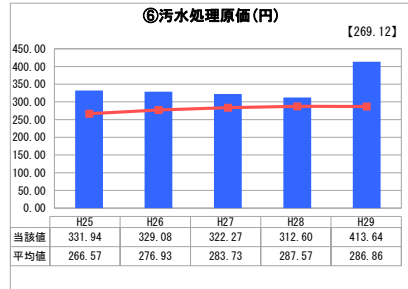
「支払能力」



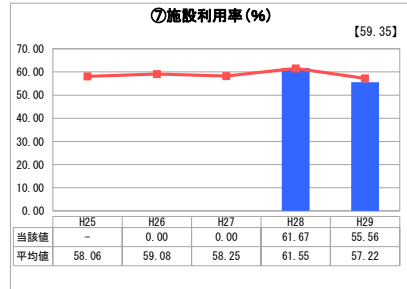
「債務残高」



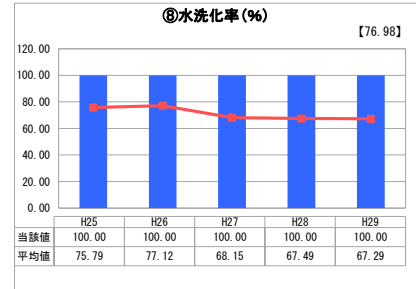
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

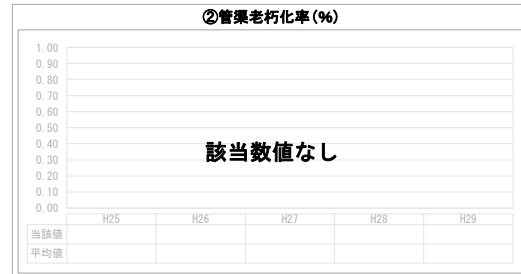


「使用料対象の捕捉」

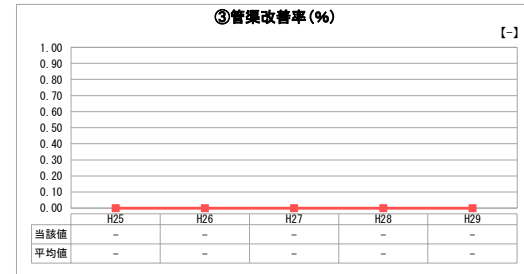
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収支比率はH26から増加傾向であったが本年度は減少した、原因としては経年劣化等により修繕費が増大したと接続数の減少等があげられる、今後更なる接続を促進していきたい、債務に関しては補助事業に係る工事費が年々増加傾向にあるので工事費の見直しを検討したい。今後使用料の改定を含めての経営改善を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在、町で維持管理している浄化槽は平成15年から始まっており、一番経過している物で15年程経過している、破損等により浄化槽が使用不可となり再設置した箇所も2箇所あり今後もそのような事案はあるかとおもわれる。加えてフロー等の消耗機器の修繕も経年劣化等で増大しており今後も維持管理費の増大が予想される。

全体総括

浄化槽は、下水道、農業集落排水の区域外の住民に区域内の住民と同じ環境を整える為進めている事業であり、現在まだ3割ほどの住民が未整備である、しかし費用や人数等の理由で接続を見送る住民も多数見受けられるのでその方たちにも設置していただくよう補助事業等の周知を実施し西和賀町の水洗化率の向上を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。